



桐生ロータリークラブ週報

2004年

国際ロータリー第2840地区 2004-2005年度 国際ロータリーのテーマ



CELEBRATE ROTARY

R.I 会長 グレン E. エステス・シニア

善意というものがいいなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原 勝樹

会長 前原 正一 幹事 養田 隆

クラブ会報・広報委員会 堀 明・金子篤郎・塙越紀隆・須永博之

7月26日号

第2487回例会

(7月12日(月) 第2例会)

- | | | |
|------------------------------|-------------|-----------------|
| 1. 点鐘 | 7. 出席100%表彰 | |
| 2. ロータリー情報アワー | 藤江聰吉君 | 8. 会長の時間 |
| 3. ロータリーソング齐唱 | | 9. 幹事報告 |
| 4. 来訪者紹介 | | 10. 委員会報告 |
| 5. 委嘱状の伝達 | | 11. 卓話「新年度を迎えて」 |
| 2004~2005年度国際ロータリー第2840地区 | | クラブ奉仕委員長 館 盛治君 |
| 地区諮問委員 吉野一郎君 | | 職業奉仕委員長 佐々木 裕君 |
| 6. ポール・ハリス・フェロー認証状ならびにメダルの贈呈 | 山崎達也君 | 12. 点鐘 |

ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員会 藤江聰吉君

今年度も毎月の第1例会に、阿部さん、久保田さん、私の三名で順番に情報アワーをつとめさせていただきます。

今年は、ロータリーが誕生して100年目の記念すべき年度となります。この節目の年に、桐生R.C.の過去の行跡を振りかえってみるのも、無駄な事ではないと思います。過去の行跡をバネに50年後・100年後のRの発展を目指してゆきましょう。

皆さんは週報の冒頭に掲載されている、前原勝樹PGの「善意というものがいいなら」で始まる1文、ここにのっているのかすでにご承知の事だと思いますが、先例会で入会された3名の方の為にご紹介させていただきます。

1970年ブライトホルツR.I.会長が、オーストラリア、シドニーの国際大会の挨拶の中で、この一文を紹介しました。この大会に出席していた、前原PGは大会終了後、R.I.会長と感激の対面をしたのです。この事が1972年の356地区大会で来日した、ペルJ.R.I.会長代理のメッセージで話されたのです。桐生R.C.が、桐生にとどまらず群馬県新潟県のR.C.の方々

から一日置かれているのは群馬で1番古いクラブという事だけでなく、以上の事にもよるものと思っています。

以上、桐生R.C.の大先輩のお話しをもって本日のR情報とさせていただきます。

出席100%表彰

塙越平人君 44回 久保田裕一君 17回
前原正一君 13回

会長の時間

- 桐生5.R.C.会長・幹事の打合せ
- 新年度初例会を祝して表敬訪問
- 参議院選、感想
・人事
・組織
・世代交替

幹事報告

- 国際ロータリーより2004~2005 Official Directory ならびにロータリーワールドが届いております。
- わたらせ養護園より「とんがりやね」が届いております。
- 桐生中央R.C.より週報到着

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 每月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

○次週7月19日(月)の例会は祝日のため休会となります。皆様お間違えないようお気を付け下さい。

○例会終了後、クラブ協議会を開催いたします。理事役員ならびに各委員長の皆様はご出席をお願い致します。

直、テーブルは動かさずに、前の3テーブルのみ使用して行いたいと思いますので、テーブルの上のものは後ろのテーブルへ移して下さい。

よろしくお願い致します。

○2004~2005年IM開催 9月5日(日)伊勢崎市文化会館にて理事・役員・委員長・新会員の方は義務出席の事。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成16年7月12日):総員63名・出席51名
平成16年6月28日例会修正出席率:74.51%

ニコニコボックス

佐々木裕君・館 盛治君…卓話をさせていただきます／塚越平人君・久保田裕一君・前原正一君…出席100%／吉田栄佐君…理事・国際奉仕委員長就任／前原勝良君…堀会員に焼饅頭を頂きました。先日の藤井会員の卓話にありました、太田春龍様(大光院)の前の饅頭でした。本当に美味でした。／藤井征夫君…塚越平人会員、岸 省吾会員よりISO9001認証取得のお祝いを戴きました／岸 省吾君…藤井会員にお世話になっています

ロータリー財団委員会

仔豚の貯金箱 蓮 直孝会員

雑誌委員会

日本全国のガバナーの話しが掲載されております。又、ロータリーの友はロータリーの公式雑誌です。ロータリーアンの情報が多く掲載されておりませんので、ご一読下さい。

卓 話



「新年度を迎えて」

2004~2005年度
桐生ロータリー・クラブ
クラブ奉仕委員長
館 盛治君

本年度、クラブ奉仕委員長に就きました、館です。これから2年間皆様には大変お世話になりますが、宜しくお願ひします。委員会は幹事経験者であります前原勝君、蓮直孝君、牛腸章君と4名にて構成されています。新年度に入り先ずはクラブ奉仕委員会の家庭集会を経て、活動内容をまとめ発表するのが手順とは思いましたが、第2例会にて卓話ということなので現況報告に載せる事業計画をお話ししたいと思います。地区分割で第2840地区となり5年間が過ぎましたが、どこのクラブも会

員の減少という問題に歯止めがかかりません。これは社会環境・経済環境の改革の影響もありますが、この改革について行けないRIの体質の問題ではないかと思います。パスト会長の阿部高久会員が取り上げたRI会長の慰労金の問題とか、又、前年度国際奉仕委員長として考えさせられた、関西国際大会の外国に於ける大会の倍の登録料の問題、これはすべてRIの方へすべて入るとの事、余りにも日本のR.C会員をバカにした話です。前回の前原会長の卓話の中でもありましたが、慰労金の問題のナシのつぶてとか問題外です。RIに対する批判はまだまだありますが、これ位にして本題に入れます。本年度地区ガバナーもテーマにしている「新たなる100年に向けて……基本にもどろう！」という事、即ち前原会長もお話していましたが、原点に戻りクラブ活動が充実して出来る、委員会構成が出来る体制の連絡調整役となり再構築を考えてゆきたいと思います。

Aグループ

S.A.A.も含め親睦活動委員会を中心に出席。プログラム・ニコニコ委員会をまき込み楽しい例会奉仕活動を行う。

Bグループ

会員全員で会員増強委員会を中心に増強に努める。ロータリー情報委員・職業分類・会員選考も出席率向上・退会防止のために新会員への情報提供や教育を出席委員会とジョイントして家庭集会を通して親睦を計り、新会員を活動の中にまき込んで行く。

Cグループ

クラブ会報・雑誌・歴史編纂の委員会も情報処理委員会のHPを活用して、クラブ活動・奉仕活動の発表を行い、同時に広報活動を行う。

又、前年度で桐生R.C総合企画特別委員会が検討したことを担当例会 H16年6月7日「我がクラブを考えよう」をパネルディスカッション方式で語り合いました。議題は

- 1) 委員会構成
- 2) 出席率向上と会員増強
- 3) ローター・アクトの存続

以上、討論内容のとりまとめが出来ましたので発表致します。

クラブ奉仕委員会としては、このとりまとめを尊重し参考にして実行に移して行きたいと思います。どうか会員の減少というこの状態を逆にチャンスととらえ、会員全員でクラブ活動に積極的に参加し、一致協力してクラブ活動を原点に戻り、検証し実行して行く事が必要ではないかと感じます。皆様の協力、宜しくお願ひ申し上げ、話が整いませんが私の卓話を終らせていただきます。

桐生R.C総合企画特別委員会担当例会報告

1. はじめに

本年度の総合企画特別委員会は、昨年度に発表した「とりまとめ概要」をもとに様々なテーマで議論し、一つ一つの出来ることから具体的な提言をしてきました。当委員会は6月7日「我がクラ

ブを考えよう」を担当し、次なる3つの具体的なテーマでパネルディスカッション方式で語り合いました。

- ①委員会構成
- ②出席率向上と会員増強
- ③ローターアクトの存続

2. 委員会開催経過

- 第1回 平成15年6月6日 場所：ミスティー
第2回 平成15年8月26日 場所：友奴
議題1 これからのRCの奉仕について
議題2 慶弔規定の変更について
(10月6日 第4回定期例理事会にて承認)
議題3 出席問題について
第3回 平成16年10月9日 場所：ミスティー
議題1 出席問題について（長期欠席者）
議題2 委員会数について
第4回 平成16年3月15日
議題1 委員会構成（シュミレーション）確認
議題2 出席要請書作成文確認
議題3 クラブ送付方法の確認
議題4 例会担当の日時
議題5 ローターアクトについて
第6回 平成16年5月11日 場所：友奴
議題1 委員会構成案作成
議題2 出席要請書案作成
スリーピング対策
出席率向上と会員増強（女性会員の件）
議題3 ローターアクトの存続方法
議題4 6月7日担当例会の準備

3. 例会の討論内容

1) 委員会構成について

- #会員数の減少に対し、委員会数の減少はやむを得ない。
- #年度を担う会長・幹事はRIの定款に則り、クラブ細則を変更するべきである。
- #委員会活動の活性化がロータリーの基本という考え方からS.A.A.を除く、各委員会数は8～10名程度で構成し、全会員は2つ以上の委員会に所属して、色々な委員会の経験をすることは意義深い。
- #各委員会は合同で家庭集会を開き、親睦を深めながらクラブを活性化していくべきである。

2) 出席率向上と会員増強

- #出席率の向上については、先ず推薦者や総合企画メンバーに対して、出席要請をして頂き、次に出席委員会は出席要請書の案よりもソフトタッチな文面の出席要請をする。
そして、最終的には会長・幹事名の出席要請書を出すことはやぶさかではない。
- #会員増強は、常に質の高い会員を地道に探し会員増強をクラブ会員全員で行う。
- #情報委員会を中心に新会員の教育及びRCの情報を提供し、さらに現会員は、積極的に新会員との親睦を深めていく企画を立てるなど、努力を重ね退会防止に努めるべきである。

#委員会活動を活性化し、新会員を巻き込んでいくべきだ。

3) ローターアクトの存続

- #今年度はローターアクト自身が会員増強の努力をする。
- #RC会員は、積極的に社員をローターアクトに入会させる努力をしていただく。
- #RC会員が、もう一度原点に返ってローターアクトの存在意義を勉強し直さなければダメだ。
- #そうした努力を積み重ねてから存続問題を議論すべきである。

委員会構成(案)

1-1	S. A. A.
2-1	クラブ奉仕
2-2	出席
2-3	プログラム
2-4	親睦活動、ニコニコ箱
2-5	職業分類、会員増強
2-6	会員選考、ロータリー情報
2-7	雑誌
2-8	クラブ会報、広報
2-9	歴史編纂、情報処理
3-1	職業奉仕
4-1	社会奉仕
4-2	新世代奉仕、RA、IA
5-1	国際奉仕
5-2	ロータリー財団
5-3	米山奨学

桐生RC委員会数の推移

1956～57年 会員36名	1966～67年 会員53名(+名譽1名)	1993～94年 会員102名(+名譽2名)
—	—	S. A. A.
社会奉仕	社会奉仕	社会奉仕
国際奉仕	国際奉仕	国際奉仕
職業奉仕	職業奉仕	職業奉仕
—	クラブ奉仕	クラブ奉仕
出席席	出席席	出席席
—	—	ニコニコ箱
—	—	会員増強
職業分類	職業分類	職業分類
クラブ会報	クラブ会報	クラブ会報
—	—	広報
親睦活動	親睦活動	親睦活動
—	—	会員
雑誌	雑誌	雑誌
—	—	高齢者への心づかい
—	—	環境保全
会員均衡	—	—
—	会員選考	会員選考
プログラム	プログラム	プログラム
一般情報	—	—
—	—	ロータリー財団
—	—	米山奨学
ロータリー情報	ロータリー情報	ロータリー情報
—	青少年奉仕	青少年奉仕
—	歴史編纂	歴史編纂
—	—	ローターアクト
—	—	インタークト
—	—	ポールハリス3世
計12	計14	計26

桐生ローターアクトクラブ 会員数推移

1969~70年	(チャーターメンバー)	28人
:		
70~79年		21人
80~81年		30人
:		
88~89年	(20周年)	14人
89~90年		15人
91~92年		12人
92~93年		27人
93~94年	(25周年)	31人
94~95年		14人
95~96年		25人
96~97年		19人
97~98年		20人
98~99年	(30周年)	11人
:		
2003~04年	(35周年)	7人



「新年度を迎えて」

2004~2005年度
桐生ロータリー・クラブ
職業奉仕委員長
佐々木 裕君

ロータリークラブの提唱している四大奉仕の中で特に職業奉仕は他団体に無い独自の事業である。と言われています。しかし乍ら、一言で職業奉仕とは「職業を通じて社会に奉仕すること」とあり、例えば眼鏡屋さんが休日を利用して施設を訪問し無料でメガネの保守点検や、散髪屋さんが同じく施設訪問して無料の散髪を行うとか、では全く異なるものであり、これは単にボランティアであると言っております。全てのロータリアンが事業家であり夫々の職業を通しての責任と誇り持つての活動が評価されて、結果生活の糧である報酬が得られる訳でこれが職業奉仕であると語られております。

過日5月8日の地区協議会の職業奉仕委員会に出席して感じた事は職業奉仕はロータリーで最も古くから提唱されているが定義や細則、又更には声明文等々を読んでも非常に難解なところが多いと委員長自らが語っており、出席者全員が全くその通りと頷いておりました。

広辞苑によると職業とは「日常従事する業務生計を立てる為の仕事、稼業なりわい」と記してあります。又ロータリーの手続要覧には職業とは「定職稼業、事業、専門職あるいは業務」指すものであり、ロータリーは職業奉仕と言う言葉を使うことによってService(奉仕)という文字を一番広い意味で使っており、単に事業あるいは専門職に於ける取引行為や販売される商品を指すのみでなく相手のニーズと境遇に対して正当な考慮を払い、他

人に対してもいつも思いやりの心を持つことであると説明しています。例会時に唱和する「四つのテスト」は常に職場や企業に於て、お客様や取引相手、又従業員等々の人間関係を「四つのテスト」に照らし合せ日頃から活用し利用したいものです。4月9日の地区的職業奉仕委員会が前もってアンケートを取りその集計を発表致しました中で、「四つのテスト」の活用の度合いは、との問い合わせに47クラブ中毎例会掲示して使用が21クラブ、決った例会のみの活用が同じく21クラブ、計42クラブで残り5クラブが全く実施をしていない事が分かりました。又その活用していない理由はとの問い合わせにすべてが無回答であり少々驚きを感じました。地区内のクラブで職業奉仕ボランティア委員会が有りますか、との問い合わせに8クラブが「ある」残り33クラブが無し、立ち上げる予定があるが4クラブありました。このロータリーと地区的他団体と、ロータクタ、財団学友、又、ロータリアンで無い人達と共に奉仕プロジェクトに協力し、参加すると言うことで各クラブはロータリーボランティア委員会を設けることが望ましいと言っています。パストガバナー故前原勝樹先生は、「ロータリーは初めに親睦、友情があり、ここから職業奉仕が生まれ社会奉仕に成長し、それが広がって国際奉仕になったものであり、これを貫く思想を「奉仕の理想」と呼ぶ様になった。と語っており、もし「善意」というものが無ければ職業奉仕と言っても、ただの金儲けにすぎぬ」と、又ロータリアンが職業を通じて社会に奉仕することと定義されているが職業そのもので奉仕することと理解すべきで、その奉仕活動は利潤を追求する行為、すなわち職業の中に育まれるものでなければならない。無料での奉仕や極端な割引行為は職業奉仕とは言えず、これは職業奉仕に関連した社会奉仕とみるべきである。とも語っておられます。最近の企業のモラルの低下や社会的責任は誠に重大な関心事であって、少し前では雪印乳業事件、又狂牛病、鳥インフルエンザ、近くでは三菱自動車のリコール問題等、社会を震撼させる事件が続いており、職業人として、企業人として非常に恥ずべき事で、その責任は大きいものがあります。ロータリアンは皆職業人であります。夫々の職業の原点に戻り自己の職業にプライドと責任の重さを今一度再確認すべき時と思います。本年度の当職業奉仕委員会はパスト会長の八木橋会員を強力な副委員長として迎え山崎一順会員、赤松隆会員の四名のスタートであります。年間の予定と致しましては10月の職業奉仕月間は、優良従業表彰は今年は行わず、会員又は地区的職業関連のスピーチを企画するか又は業界の専門家や成功者の卓話を伺う等を考えております。恒例の優良事業所の見学と、その会場を例会場としての行事も行う予定であります。最後に元R I理事のエルマージョーダン氏はこう言っています。「あなたや私が日々糧を稼いでいる職業奉仕の場こそ私達がロータリアンとして評価されるところなのです。私達がビジネスや専門職で、どの様に行動するかは本当に重要なことです」と。